

人材養成および教育研究上の目的		
仏語学仏文学専攻においては、フランス語が本国以外の地域でも話されている国際的な言語であることを踏まえ、その背景にある文化・文学・思想の普遍的な性格を認知し、自由・平等・友愛の精神のもと人権や民主の思想を世界中に広めるフランス精神を重んじ、カリキュラムに基づき、きめ細かな個人指導を実施する。博士課程前期では、仏語学・仏文学の修得による普遍的な人間形成を目指した教育を施し、社会諸方面の要請に応える専門的人材を育成することを目的とする。博士課程後期では、それぞれの専門領域においてさらに深化した独創的な研究を実現できる、国際社会に有用な高度な専門職業人・研究者の育成を目的とする。		

三つの方針（三つのポリシー）		
学位授与方針 （ディプロマ・ポリシー）	教育課程の編成・実施方針 （カリキュラム・ポリシー）	学生の受け入れ方針 （アドミッション・ポリシー）
＜博士課程前期＞		
人文科学研究科仏語学仏文学専攻は、人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に、修士（文学）の学位を授与する。	人文科学研究科仏語学仏文学専攻は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、次に掲げる方針に基づき、教育課程を編成・実施する。	人文科学研究科仏語学仏文学専攻では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生等を受け入れる。
知識・理解 <p>【学修成果の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏語学仏文学の専門的な知識を有している。(DP1) ・ 仏語学仏文学の理論を理解している。(DP2) <p>【到達指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏語学仏文学の専門的な知識について、説明することができる。(DP1) ・ 仏語学仏文学の専門的な理論について、説明することができる。(DP2) ・ 最終試験に合格している。(DP1・DP2) 	<p>【教育課程の編成】</p> 仏語学と仏文学の講義を、下位分野もしくは時代区分に応じて編成している。	<p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏語学仏文学の専門的な知識の修得およびその運用に意欲がある学生を受け入れる。 ・ 広くヨーロッパの文化に関心を持ち、国際的な課題を解決するべく、独創的な視点を見つけるための努力を惜しまない学生を受け入れる。 ・ 福岡大学人文学部フランス語学科ヨーロッパ特別コースの学生については、早期卒業制度に関する規定に基づく成績をおさめ、フランス語圏を中心とするヨーロッパ文化及びフランス語に関する専門性の高い研究に取り組む意欲がある学生を受け入れる。
技能 <p>【学修成果の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏語学仏文学の知識や理論を展開させて論じることができる。(DP3) <p>【到達指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの見解を明確に言語化できる。(DP3) ・ 見解が異なるものと、批判的かつ建設的な意見交換ができる。(DP3) ・ 最終試験に合格している。(DP3) 	<p>【教育課程の編成】</p> 仏語学と仏文学の演習を設置している。	<p>【入学者選抜の在り方】</p> 志望動機を精査した上で、筆記試験では必要語学力等を問い、面接で志望者の意欲や適性を見定め、入試要項に基づき厳格に実施する。福岡大学人文学部フランス語学科ヨーロッパ特別コースの学生に関しては、早期卒業制度に関する規定に基づく成績について、面接では志望動機と研究計画について、入試要項に基づき厳格に実施する。
態度・志向性 <p>【学修成果の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究倫理に関する基本的な規範意識を身に付けている。(DP4) ・ 既成の枠組みにとらわれず、広い視野で研究に取り組む意欲を持っている。(DP5) ・ 先行研究を適確に把握しつつ独自の見解を積極的に打ち出そうとする姿勢を有する。(DP6) <p>【到達指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究倫理を踏まえた上で、論文や発表で独自性を提示できる。(DP4・DP5・DP6) ・ 最終試験に合格している。(DP4・DP5・DP6) 	<p>【教育課程の編成】</p> 講義および演習を設置している。	
＜博士課程後期＞		
人文科学研究科仏語学仏文学専攻は、人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に、博士（文学）の学位を授与する。	人文科学研究科仏語学仏文学専攻は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、次に掲げる方針に基づき、教育課程を編成・実施する。	人文科学研究科仏語学仏文学専攻では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生等を受け入れる。
知識・理解 <p>【学修成果の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨーロッパの文化に対する深い教養をもとに、仏語学仏文学のより専門的な知識を修得し活用することができる。(DP1) ・ 仏語学仏文学のより専門的な理論を理解し、フランス語で書かれた専攻研究を正確に読解することができる。(DP2) <p>【到達指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏語学仏文学のより専門的な知識について、説明することができ、専門分野の先行研究について深い知識を有している。(DP1) ・ 仏語学仏文学のより専門的な理論について、また専門領域の研究状況について説明することができる。(DP2) ・ 博士論文を提出し、合格している。(DP1・DP2) 	<p>【教育課程の編成】</p> 仏語学と仏文学の講義を、下位分野もしくは時代区分に応じて編成している。	<p>【求める学生像】</p> 仏語学仏文学専攻では、専門分野に関する高度な知識を具えたとともに、博士課程前期で培ったスキルをさらに磨き、蓄積してきた研究成果を国際的な場で発表し、独創的な研究を遂行するためにさらなる研鑽を怠らない、向上心・探究心をもつ学生を求める。
技能 <p>【学修成果の目標】</p> 仏語学仏文学のより専門的な知識や理論を展開させて論じることができる。(DP3) <p>【到達指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの見解を明確に言語化し、論文の中で説得的な論証が出来る。(DP3) ・ 見解が異なるものと、批判的かつ建設的な意見交換ができ、多面的な視点から独創性のある論点を見つけていくことが出来る。(DP3) ・ 博士論文を提出し、合格している。(DP3) 	<p>【教育課程の編成】</p> 仏語学と仏文学の「特別研究」を設置している。	<p>【入学者選抜の在り方】</p> 志望動機、筆記試験、研究計画内容の精査および口頭試問により、仏語学仏文学に関する深い専門的知識と問題発見能力および課題解決能力について、入試要項に基づき厳格に実施する。
態度・志向性 <p>【学修成果の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究倫理に関する規範意識を身につけている。(DP4) ・ 先行研究を適確に把握しつつ独自の見解を練り上げる姿勢を有する。(DP5) ・ 既成の枠組みにとらわれず、多角的な視野で学際的な研究に取り組む意欲を持っている。(DP6) <p>【到達指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究倫理を踏まえた上で、論文や発表で独自性を提示できる。(DP4・DP5) ・ 研究会を組織し、その中で指導的な役割を担うことが出来る。(DP6) ・ 博士論文を提出し、合格している。(DP4・DP5・DP6) 	<p>【教育課程の編成】</p> 仏語学と仏文学の「特別研究」を設置している。	